

第57回全国手話通訳問題研究集会 ～サマーフォーラムinかごしま～

◇大会日程◇
2024年8月23日(金)～25日(日)



ゆい
結 ～みんなをつなぐ 未来へつなぐ～

< 実行委員会 事務局 >

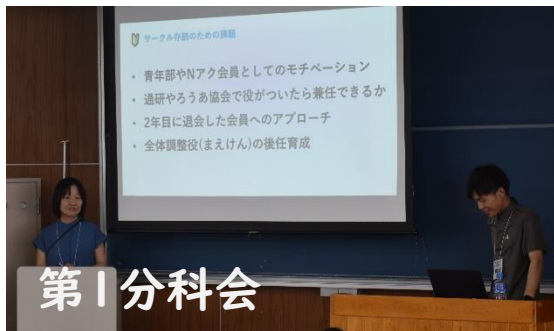
第57回 全国手話通訳問題研究集会 ～サマーフォーラムinかごしま～ 実行委員会

連絡先：〒890-0021 鹿児島県鹿児島市小野1丁目1-1ハートピアかごしま3階（一社）鹿児島県聴覚障害者協会 気付

TEL:099-228-2016 FAX:099-228-6357 Email:main@kagoshima-deaf.jp

速報 14号

2024年 8月25日発行





参加者の声を紹介します!

第2分科会では、活発に意見がかわされました。『手話通訳の仕事』の中でも、ろう相談員と設置者とコーディネーターなど色々な立場の人と連携しあう大切さ。また、守秘義務に対する考え方など今後どういう研修があったらいいか、色々考えさせられました。県に帰っていろいろ意見出したいと思います。(K)

大通研手話の口形・口型についてのレポート報告は、読み取り通訳では総合的な手話表現のひとつと捉えられておりましたが、口形・口型をピックアップして研究されたことは改めて気づきとなりました、現行の養成講座DVDでもそれぞれのろう者が、ロパクをされており、そのことについても、受講者への学習指導に取り入れていこうと思っております。(木村幸治 奈良県)

初めて第3分科会に参加しました。若年層の手話通訳者養成モデル事業についてクラウド使用など画期的な試みとそれを運用と指導する山口県ろうあ協会の力にとっても感銘を受けました。(匿名希望)

地域に帰り、奉仕員養成講座の中に、少しでも何か(指導教材など)を取り入れられるヒントをたくさん得ることができた分科会でした。(匿名希望)

参加地域の様々な取り組みを知ることができて、参考になった。自分の地域に持ち帰り紹介したい。(K. N)

今回初めて分科会に参加しました。内容は、手話通訳者の高齢化、養成講座の取り組みなど。それぞれの地域の声を聞き、とても充実な時間でした。知識をさらに深められる良い講座だと思います。(T. O)

医療関係の通訳は専門的知識が必要であるから、医療現場での経験がない場合模擬通訳の実施が大切であり、聴覚障害者共に健康と医療についての知識を深める研修会が大切である。各県から質問や意見が多く出され、とても良い報告で皆さん参考にされるでしょう。(藤村浩二 山口県)